

平成 16 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 中央化学株式会社
 代表者名 代表取締役社長 渡辺 浩二
 コード番号 7895
 問合せ先 管理本部長 永田 修
 TEL：(048)540-2624

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 15 年 12 月期(平成 15 年 1 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日)の業績予想について、平成 15 年 8 月 22 日に公表しました業績予想を下記の通り修正しますので、お知らせ致します。

記

1. 平成 15 年 12 月期連結通期業績予想数値の修正(平成 15 年 1 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日) (単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 15 年 8 月 22 日発表)	82,000	600	4,700
今 回 修 正 予 想 (B)	78,381	857	6,882
増 減 額 (B - A)	3,619	1,457	2,182
増 減 率	4.4%	-	-
前 期 (平成 14 年 12 月 期) 実 績	80,700	1,088	402

2. 平成 15 年 12 月期単独通期業績予想数値の修正(平成 15 年 1 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日) (単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 15 年 8 月 22 日発表)	71,500	700	4,500
今 回 修 正 予 想 (B)	69,544	329	5,462
増 減 額 (B - A)	1,956	371	962
増 減 率	2.7%	52.9%	-
前 期 (平成 14 年 12 月 期) 実 績	71,280	168	984

3. 修正の理由(連結通期業績・単独通期業績) 国内)

デフレ圧力と原材料高騰の逆風下にあつて、全社挙げての販売単価是正とコスト削減努力による収益力アップに努め、中央化学単独ベースでは営業利益・経常利益ともに前年比増益となりましたが、残念ながら、上期不振分をカバーしきれず、所期の収益目標を下回る見込です。当期利益につきましては、上期に不動産開発投資事業に絡む引当金 75 億円を特別損失に計上しましたが、下期に入って、急激な円高による為替差損の影響もあつて、中国子会社に対する投資損失引当金 4 億円を積み増しする等の手当てをした結果、所期の収益目標を大きく下回る見込です。

米国)

前半は、イラク戦争の影響下個人消費が冷え込み、売上が落ち込んだ上に、前期実施した大型設備投資の費用負担が嵩み苦戦を強いられました。下期に入り、売上・利益ともに回復基調に入りましたが、回復ペースが予想を下回り、期初収益目標を下回る見込です。

中国)

前半は、SARS(サーズ)の影響をモロに受けましたが、後半に入り、売上は前年比約40%増と急ピッチで回復してきております。収益面でも営業利益ベースでは、半数の子会社で月次黒字化が実現してきておりますが、急激な円高による為替差損(約7億円)の影響を受け、収益目標を大きく下回る見込です。

4. 配当について

配当につきましては、予定通り一株当たり10円、通期で20円の配当を実施する所存です。また、未処理損失については、別途積立金の取り崩しによる処理を予定しております。

最後に

単独・連結共に、目標収益を下回る見込となったことは、誠に遺憾ではありますが、国内・海外ともに15年6月の中間期を底に、確実に回復基調に入っております。16年度は、この回復スピードを速め、単独・連結共に増収増益を実現する所存であります。

以 上